



ふくせんレポート

2022
4|28

第11号

1～6面	ふくせんチャンネル特集
7面	知識PLUS「介護サービス事業所に求められるBCP(業務継続計画)とは」
8面	バリアフリー-2022/研修開催のお知らせ

※連載「住宅改修事例」は休載させていただきます。

You Tube「ふくせんチャンネル特集」

福祉用具の新情報・イメージを動画で発信 賛助会員各社の協力でラインナップ充実

「ふくせんチャンネル」は、本会が、福祉用具専門相談員の職能団体として、福祉用具のちからを伝えるために開設した動画共有チャンネルである。2020年12月の開設以降、総再生回数は、1万9500回を超えた(2022年4月現在)。同チャンネルで視聴されている動画は主に本会賛助会員各社の協力によるもの。提供頂いている20社に、本チャンネルについてどのようにとらえているかなどを伺ってみた。

「会う・集まる」機会激減の状況下で 定着した、商品情報やイメージ受発信の場

今や、インターネットを介した情報収集は、福祉用具専門相談員にとって、欠かすことができない手法と言える。集合型の研修や商品説明会が難しい中、例えばオンラインセミナーへの積極的な参加は、すでに多くの会員が行っており、実務者のスキルアップの方法のスタンダードとなったと言っても過言ではないだろう。そして、さらに手軽に、隙間時間を活用してできるのが、「ふくせんチャンネル」のような、短編動画の視聴である。

ふくせんチャンネルの動画は、2分台から5分台のものが多く、長くても10分程度までのものがほとんど

だ。内容は、実機を使ったデモンストラーションやイメージを伝えるもの、調整方法を学ぶものなど様々。また、講義スタイルのものやストーリー仕立てのものなど、構成もバラエティに富んでいる。少し空いた時間に、場所を選ばず視聴でき、何度繰り返し見ることができ、多忙な業務の中で時間の有効活用としてはもちろん、気分転換にもなるのでは。それが福祉用具専門相談員としてのスキルアップにつながれば、視聴する側にとっていいことはない。

すでに多種多様な動画が提供されている。ただ、動画を制作し、提供するメーカーにとって、メリットはあるのだろうか。継続と発展の可能性を探る上で、意見を聞いてみたい。

